

# 令和7年度一般選抜試験

## 学 力 試 験

### 数学，物理，化学，生物，日本史， 世界史，英語，国語

令和7年1月26日 9時30分—11時30分

#### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 各科目の問題は下記のページにある。

| 科目名 | 数 学 | 物 理  | 化 学   | 生 物   | 日本史   | 世界史   | 英 語   | 国 語   |
|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ページ | 3～7 | 8～11 | 12～17 | 18～25 | 26～32 | 33～37 | 38～49 | 50～63 |

国語は順序が逆で63ページ(国語1)から始まり50ページ(国語14)で終わるので注意すること。

- 3 出願時に届け出た2科目の問題に解答すること。これに違反した解答は無効とする。
- 4 解答には黒鉛筆、黒色シャープペンシル又は黒色ボールペンを使用すること。
- 5 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 6 解答用紙の指定欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。
- 7 解答の記入の仕方については、解答用紙並びに問題の初めに書いてある注意に従うこと。
- 8 本冊子の余白は計算・草稿用に使用してよい。ただし、切り離さないこと。
- 9 試験時間内の答案提出、退室は認めない。
- 10 問題冊子及び解答用紙は、全て回収するので持ち帰らないこと。

|                            |  |                  |  |  |  |  |  |  |   |  |
|----------------------------|--|------------------|--|--|--|--|--|--|---|--|
| 学<br>科<br>・<br>コ<br>ー<br>ス |  | 受<br>験<br>番<br>号 |  |  |  |  |  |  | 氏 |  |
|                            |  |                  |  |  |  |  |  |  | 名 |  |

上欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。

# 日 本 史

- 1 問題〔1〕～〔5〕のうちから4問選択して解答すること。
- 2 選択した問題の番号を解答用紙の選択問題番号欄に記入すること。

〔1〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

A 朝鮮半島では、1950（昭和25）年6月に北朝鮮の韓国への侵入により朝鮮戦争が始まった。

〔1〕を最高司令官とする国連軍が組織され、日本がその主要拠点となった。朝鮮戦争は、北緯38度線付近で戦線が膠着状態となり、1951（昭和26）年7月から休戦会議が始まり、1953（昭和28）年7月に〔2〕で休戦協定が調印された。アメリカは朝鮮派兵後の治安維持のため、日本に〔3〕を創設させた<sup>①</sup>。朝鮮戦争による特需景気は、〔4〕と呼ばれる経済安定策によって深刻な不況におちいていた日本に活気を取り戻させた。朝鮮戦争開戦と前後して〔1〕は共産党幹部を公職から追放し、官公庁や企業から共産黨員やその支持者を追放した。このことを〔5〕とよんでいる。

B 朝鮮戦争での日本の戦略的価値を再認識したアメリカは、占領を終わらせて日本を西側陣営に早期に編入しようとする動きをみせた。アメリカの〔6〕外交顧問らは対日講和からソ連などを除外し、講和後もアメリカ軍を日本に駐留させることなどを条件に準備を進めた。〔7〕・大内兵衛ら知識人層や〔8〕・日本共産党による全面講和運動が強まっていった。第3次吉田茂内閣は、講和後もアメリカ軍の駐留を認めることで、再軍備の負担を避けて経済復興に全力を注ぐことを考え、基地提供の見返りに安全保障をアメリカに依存する道を選択した。1951（昭和26）年9月、日本と48カ国とのあいだで〔9〕が調印された。これにより日本は独立国としての主権を回復した。同日、米軍の基地使用を駐留の規模・場所・期間を定めずに認める〔10〕が調印された。

問1 空欄〔1〕～〔10〕に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- |                |              |            |
|----------------|--------------|------------|
| a マッカーサー       | b ドッジ＝ライン    | c 自衛隊      |
| d 仁川           | e 日米安全保障条約   | f ダレス      |
| g ウィルソン        | h 南原繁        | i ヴェルサイユ条約 |
| j ニクソン         | k 日本社会党      | l スミソニアン体制 |
| m 板門店          | n MSA 協定     | o 日本民主党    |
| p レッド＝パージ      | q ソウル        | r 中里介山     |
| s 警察予備隊        | t 日米和親条約     | u 保安隊      |
| v サンフランシスコ平和条約 | w ゼネラル＝ストライキ |            |

問2 下線部①の朝鮮での休戦協定の翌年に調印されたインドシナの休戦協定名を答えよ。

問3 下線部②の特需景気について、以下の表1と表2中の空欄  ～  に当てはまる名目の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 1 石炭                      2 自動車部品      3 兵器
- b 1 自動車部品            2 兵器                3 石炭
- c 1 鉄                        2 石炭                3 自動車部品
- d 1 兵器                    2 石炭                3 自動車部品
- e 1 兵器                    2 鉄                    3 銅

表1 朝鮮特需のおもな契約高

(有沢広巳・稲葉修三編『資料戦後二十年史』より)

|   | 物資                             |         | サービス  |         |
|---|--------------------------------|---------|-------|---------|
| 1 | <input type="text" value="1"/> | 148,489 | 建物の建設 | 107,641 |
| 2 | <input type="text" value="2"/> | 104,384 | 自動車修理 | 83,036  |
| 3 | 麻袋                             | 33,700  | 荷役・倉庫 | 75,923  |
| 4 | <input type="text" value="3"/> | 31,105  | 電信・電話 | 71,210  |
| 5 | 綿布                             | 29,567  | 機械修理  | 48,217  |

表2 朝鮮特需の主要物資の年別契約順位

(有沢広巳・稲葉修三編『資料戦後二十年史』より)

| 順位 | 第1年目 | 第2年目                           | 第3年目                           | 第4年目                           | 第5年目                           |
|----|------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1  | トラック | <input type="text" value="3"/> | <input type="text" value="1"/> | <input type="text" value="1"/> | <input type="text" value="1"/> |
| 2  | 綿布   | <input type="text" value="2"/> | <input type="text" value="2"/> | <input type="text" value="2"/> | <input type="text" value="2"/> |
| 3  | 毛布   | 綿布                             | 麻袋                             | 食糧品                            | 食糧品                            |
| 4  | 建築鋼材 | ドラム缶                           | 有刺鉄線                           | 家具                             | 家具                             |
| 5  | 麻袋   | 麻袋                             | セメント                           | 乾電池                            | セメント                           |

おもな物資およびサービスの契約高

(1950年6月～55年6月、単位：千ドル)

〔2〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

室町時代後期、関東では1454年に鎌倉公方と関東管領の対立による [ 1 ]、京都では1467年に細川氏と山名氏の対立による応仁の乱が起きた。これ以降室町幕府の力は弱まり、地方の守護代・国人等は独自の勢力を築き戦国大名となっていく。戦国大名は国人や地侍を家臣団に編成して有力な家臣に領地を与え、その他の家臣を率いさせた。このような仕組みを [ 2 ] と呼ぶ。また、領内を支配するための独自の規則を作った。

大名は領内の<sup>①</sup>経済発展と財源確保のため様々な政策をとった。楽市・楽座の制を実施して一般の商工業者の自由な営業を保証した。領国の中心となる城の周辺には商工業者が集まって商業が発展し、[ 3 ] が作られた。また、これまで寺社などの荘園領主が持っていた特権を否定し、耕地面積を申告させる [ 4 ] を行った。当初は田んぼ一段に対していくらといった形で課税する [ 5 ] が多く採用され、家臣に年貢の徴収や徴兵を行わせた。堤防を作って水害を防ぎ、[ 6 ] 用水を整備するなどして農地の拡大も行った。佐渡の金山、石見の銀山など鉱山開発も盛んに行われた。

大名は大航海時代を経て東アジアに進出していたヨーロッパ諸国と [ 7 ] も行い、鉄砲、火薬、毛織物などと銀や漆器などの工芸品を交換した。九州を中心に、キリスト教の信仰にひかれたことや、貿易の利益を得るために洗礼を受け、[ 8 ] となった者たちもいた。

やがてそれら戦国大名の中から大きく力を伸ばす者が現れ、豊臣秀吉によって全国が統一された。

問1 空欄 [ 1 ] ～ [ 8 ] に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- |        |        |          |           |
|--------|--------|----------|-----------|
| a 一味神水 | b 永享の乱 | c 城下町    | d 刀狩      |
| e 享徳の乱 | f 定免法  | g 港町     | h キリシタン大名 |
| i 新恩給与 | j 勘合貿易 | k 工業     | l 寄親・寄子の制 |
| m 指出検地 | n 封建制  | o 棟別税    | p 灌漑      |
| q 守護大名 | r 貫高制  | s 大内道頼の乱 | t 防火      |
| u 壬申の乱 | v 公地公民 | w 南蛮貿易   | x 門前町     |
| y 太閤検地 |        |          |           |

問2 下線部①について、以下は当時甲州（現在の山梨県周辺）を治めていた大名が領内を支配するために制定した文章の一部である。

「甲州法度之次第

第十二条

私領・名田<sup>ほか</sup>の外、恩地領<sup>そ</sup>、左右無<sup>く</sup>沽<sup>きやく</sup>却<sup>せ</sup>せしむる事、これを停止<sup>おわ</sup>し訖<sup>かく</sup>んぬ。此の如く制<sup>いえど</sup>すると雖も、  
抛<sup>よんどころ</sup>無<sup>く</sup>ば、子細<sup>しさい</sup>を書き上げ、年期を定め、売買せしむべき事。

第十七条

喧嘩<sup>けんか</sup>の事、是非<sup>およ</sup>に罩<sup>せいはい</sup>ばず成敗<sup>た</sup>を加<sup>か</sup>ふべし。但し取り懸<sup>いえど</sup>るとも雖も堪忍<sup>かんにん</sup>せしむるの輩<sup>ともがら</sup>に於いては罪科に  
処<sup>しかれども</sup>すべからず。然<sup>ひいき</sup>而<sup>へんば</sup>、鼯<sup>やから</sup>眞偏頗<sup>ま</sup>を以て合力<sup>り</sup>せしむる族は、理非を論ぜず同科たるべし。」

- (1) このように大名が自らの領地内を収めるために作った規則を何とよぶか、漢字3文字で答えよ。
- (2) この規則の特徴として適切ではないものはどれか。次から1つ選び、記号で答えよ。
  - a 幕府法・守護法を継承した法とともに、国人一揆の規約を吸収するなど、中世法の集大成的な性格を持っていた。
  - b 所領の相続・売買や婚姻などを規制して家臣を統制した。
  - c 大名が幕府に従属することを強調し、幕府の権威による秩序の安定をもたらした。
  - d 農民の一揆や逃散を禁じて分国支配の安定をはかった。
  - e 家臣相互の紛争の際に自力救済による解決を否定して紛争を大名による裁判にゆだねさせた。
  - f 違反に対しては罪科を与え土地を没収するなど、厳罰主義がとられていた。
- (3) 第十七条のように家臣同士の争いの際には双方に罰則を与える規則があった。このような規則を何とよぶか答えよ。
- (4) この規則が定められた1547年当時、甲州を治めていた大名は誰か。最も適切な人名を次から1つ選び、記号で答えよ。
  - a 今川義元    b 上杉謙信    c 伊達政宗    d 北条氏康    e 毛利元就
  - f 武田信玄

〔3〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

17世紀後半から18世紀初めにかけて幕政が安定し、経済が発達すると、多彩な文化が生み出され、<sup>①</sup> 武士・町人をはじめ民衆にいたるまで、広く受け入れられた。この時代の文化を元禄文化という。幕府は儒学を重視し、江戸に湯島聖堂をたてた。その後、 学が儒学の本流として発展した。これに対して、熊沢蕃山は  学を学んで、知行合一を主張したが、蕃山は幕府にとがめられて幽閉された。一方、 らは孔子や孟子の古典にもどる古学派を形成した。元禄期には、町人の文芸が上方を中心に展開した。 は『好色一代男』、『日本永代蔵』などの作品で、自らの才能や工夫で生きぬく町人の姿をえがいた。美術では、京都の  が俵屋宗達の装飾性の強い画法を取り入れて琳派をおこし、上層町人に歓迎された。

19世紀に入り、文化・文政期のころの文化を化政文化とよぶ。学問・思想の分野で新しい動きがあらわれた。洋学では、緒方洪庵が  <sup>②</sup> を開いた。国学では、19世紀初めに  が復古神道 <sup>③</sup> をとなえた。文芸では、 の代表的作家として為永春水がいたが、天保の改革で処罰された。美術では、錦絵の風景版画が流行し、<sup>④</sup> 葛飾北斎らの絵が広まった。

問1 空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- |        |        |          |        |        |
|--------|--------|----------|--------|--------|
| a 鳴滝塾  | b 適々斎塾 | c 松下村塾   | d 林鳳岡  | e 荻生徂徠 |
| f 中江藤樹 | g 井原西鶴 | h 近松門左衛門 | i 松尾芭蕉 | j 尾形光琳 |
| k 菱川師宣 | l 滑稽本  | m 人情本    | n 洒落本  | o 本居宣長 |
| p 平田篤胤 | q 吉田松陰 |          |        |        |

問2 下線部①の例として適切ではないものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 全国市場が確立し、江戸の十組問屋や大坂の二十四組問屋が組織された。
- b 手数料をとり三貨を交換する両替商の役割が大きくなった。
- c 大坂は「天下の台所」として栄え、諸大名は蔵屋敷を大坂に置いた。
- d 家内工場を設けて働き手を集め、協同で手工業生産を行う者も出てきた。

問3 下線部②の代表的な人物として適切ではないものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 鈴木春信
- b 歌川広重
- c 小林一茶
- d 曲亭（滝沢）馬琴

問4 下線部③の説明として、最も適切なものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 儒教を激しく批判し、仏教を擁護した。
- b 仏教を激しく批判し、儒教を擁護した。
- c 儒教も仏教も激しく批判した。
- d 儒教も仏教も擁護した。

問5 下線部④の人物の作品として、最も適切なものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」      b 「名所江戸百景 亀戸梅屋敷」  
c 「見返り美人図」                              d 「ポッピンを吹く女」  
e 「紅白梅図屏風」

問6 空欄  ・  に当てはまる語句をそれぞれ漢字2文字で答えよ。

〔4〕 次の条約改正の歩みに関する年表について、以下の問いに答えよ。

- 1858年       条約調印（担当者：大老  ）  
1872年      欧米巡回、最初の交渉（担当者：右大臣  ）  
1878年       回復を主眼、米は同意。 、ドイツの反対で不成功（担当者：外務卿  ）  
1882～87年  撤廃、 の一部回復を主眼。外国人裁判官任用問題・欧化政策で失敗。（担当者：外務卿  ）  
1888～89年  撤廃を国別に交渉。外国人判事の大審院任用問題で失敗（担当者：外相  ）  
1891年       撤廃に  同意。 事件で挫折。（担当：外相  ）  
1894年      日英通商条約調印（  撤廃、 の一部回復）（担当：外相  ）  
1899年      改正条約実施（有効期間12年）  
1911年       の回復（担当：外相  ）

問1 空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

- a 井上毅      b 日米和親      c フランス      d 大津      e 大審院  
f 青木周蔵      g 日朝修好      h 福島      i 井上馨      j イギリス  
k 大隈重信      l 小村寿太郎      m 江華島      n 板垣退助      o 秩父  
p 堀田正睦      q 日米修好通商      r 井伊直弼      s ロシア      t 清  
u 岩倉具視      v 寺島宗則

問2 空欄  ・  には幕末に締結した不平等条約に関わる2つの権限の名称が当てはまる。その語句をそれぞれ漢字5字で答えよ。

問3 空欄  に当てはまる人物を漢字で答えよ。

〔5〕 次の資料を読み、以下の問いに答えよ。

資料A

乙巳、詔して曰く。「…宜しく天下諸国をして各敬みて  塔一区を造り、并せて  ・  各一部を写さしむべし。…僧寺には必ず  僧有らしめ、其の寺の名を  と為し、尼寺には  尼ありて、其の寺の名を  と為し、両寺相共に宜しく教戒を受くべし。…」と。

資料B

冬十月辛巳、詔して曰く。「…粵に天平十五年歳次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を發して  の金銅像一軀を造り奉る。…夫れ天下の富を有つ者は朕<sup>①</sup>なり。天下の勢を有つ者も朕<sup>②</sup>なり。此の富勢を以てこの尊像を造る。事や成り易き、心や至り難き。…」と。

問1 空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句を次から選び、記号で答えよ。

- |              |          |        |         |
|--------------|----------|--------|---------|
| a 三重         | b 五重     | c 七重   | d 十三重   |
| e 金光明最勝王經    | f 妙法蓮華經  | g 觀世音寺 | h 無量壽經  |
| i 金光明四天王護國之寺 | j 法華滅罪之寺 | k 盧舍那仏 | l 釈迦牟尼仏 |

問2 空欄  と  には僧尼の人数が入る（原文は漢数字）。最も適切な人数を次から1つ選び、記号で答えよ。

- a 10    b 15    c 20    d 30    e 50    f 75    g 100

問3 資料Aの名称を答えよ。

問4 資料Bの名称を答えよ。

問5 下線部①の天平十五年とは西暦何年のことか、数字で答えよ。

問6 下線部②の朕とは誰のことか、人物名を答えよ。